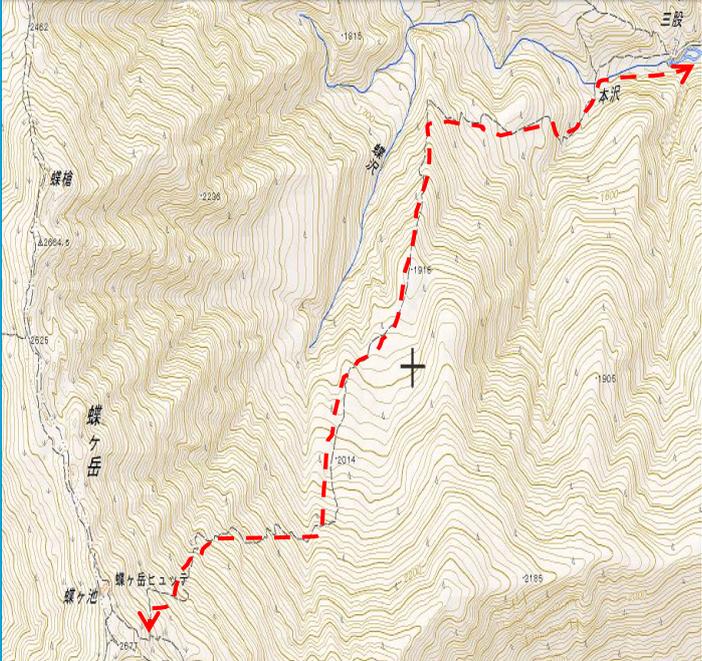


9 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> 山行報告書			報告者	町田 修	参加メンバー CL: 町田 修 SL: 藤田勝啓 三矢十三世 町田明美
			報告日	9/30	
山 域	北アルプス	山行日	18年9月21日(金) ~9月23日(日)		
山 名	蝶ヶ岳				

山行目的	蝶ヶ岳山頂から穂高連峰を俯瞰する		9/22(土) 雨-曇り	9/23(日) 曇り後晴れ
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)		計画では蝶ヶ岳登山だが、天気が雨のため安曇野の美術館巡りに変更する ◇安曇野山岳美術館 足立源一郎 畦地梅太郎 ◇碌山美術館 萩原守衛(碌山) 高村光太郎 戸張孤雁 ◇田淵行雄記念館 北アルプスを中心とした山岳写真と蝶の細密画 ◇ちひろ美術館 いわさきちひろの絵	
総会参加数			4:50 ホテル発	
山行: 1リーダー			5:45 臨時駐車場発	
原紙: 会事務局			8:10 本沢を渡り尾根取付き手前	
			8:35 常念岳が見える林中	
			8:46 標高 2000m	
			9:24 蝶沢	
			10:00 第2ベンチ 2350m	
			11:30 蝶ヶ岳山頂着	
			12:20 ヒュッテ発	
			13:46 蝶沢	
			14:40 まめうち平	
			15:30 ゴジラの木	
			16:00 三股登山口着	
			16:30 臨時駐車場着	

〈山行報告〉「蝶ヶ岳に登りたい!!」この強い三矢さんの一声で山行計画を立案した。山頂から槍穂の雄姿を見たいとおっしゃる。とすれば、晴れていなければ望みは叶わない。と言うことで、22日(土曜日)の登山計画を23日にシフトした。悪天続きの谷間に23日だけが、すっぱり晴天に収まっている。なんと運のよい事。さて22日、急いで出かける必要はない。ゆっくり起きて朝風呂に入り、安曇野散策プランを立てる。ホテル前の木にはサルたちがやってきて木の実を食べている。そして予想通り雨が降っている。この日の行動は上記をご参照に。23日4:00起床、フロントでお弁当を頂き登山口へ向かう。三股登山口へのルートは藤田さんがキッチリ、ナビに入力してくれた。三股林道崩落で手前の手前、臨時駐車場に止める。雨天続きで本沢は増水し、ゴーゴーと荒れ狂っている。うるさい沢音を横目に林道を詰め、三股から本沢のつり橋を渡り、尾根に取り付く。晴天の空が気持ち良い。紅葉した林の間から、前常念のピークと奥に常念岳が見える。まだ随分の高度差がある。が、三矢さん元気でホテルのおにぎり弁当を食べている(この弁当が素晴らしく上等で美味しかった)登山客は多く、抜きつ、抜かれつつ高度を上げていく。樹林帯を抜け、蝶ヶ岳ヒュッテの赤い屋根が見え

て来た。そして、その向こうに槍の穂先が見えている。少しづつ稜線へ近づくと槍も少しづつ大きくなり、最後に稜線に飛び出ると、槍穂の大パノラマが広がる。よかったね、三矢さん!...大喜びである。しかし稜線の風は冷たく、一気に体温を下げ、三矢さんの太ももが悲鳴を上げる。ヒュッテで藤田さんが温かいコーヒーを沸かし、一息ついた。下りはゆっくりゆっくり、足をさすりながら下る。

《フリースペース》



奥穂岳(右)と前穂

確認(リーダー)	2018.9.30	〈リーダー所見〉 いやはや、今回も(トムラウシの12時間登山に劣らず)10時間強の強行軍を走破した。たいしたお方だ。とは言え、勧められる計画ではない。一時の好天を突いたタイムリーな計画も体力限界との薄氷に辛うじて成立した感がある。疲れた体をしっかりメンテナンスし、これからは5~6時間のお山を楽しみましょう。(佐渡ヶ島の山が待っていますヨ!)
作成(報告者)	町田	